

川口市廃棄物対策審議会委員委嘱式 及び
令和 7 年度第 1 回川口市廃棄物対策審議会

- 1 開催日時 令和 7 年 7 月 2 4 日（木）午後 2 時 0 0 分から午後 4 時 1 0 分まで
- 2 開催場所 川口市役所第一本庁舎 6 階 6 0 1 大会議室
- 3 出席者（1）川口市廃棄物対策審議会委員：1 4 人
市議会議員：稲川 和成（会長）、幡野 茂
市 民：森田 康代、守谷 裕之、星野 恒治
川嶋 栄子、山本 一恵、遠山 玲子
戸田 良子
事業者：林 嘉和、岩崎 康彦、鈴木 守郎、小林 愛未
関係行政機関：赤松 真一

（2）事務局：2 3 人（※うち(株)地域計画建築研究所より 3 名）
須藤環境部長、平山朝日環境センター所長、金野環境総務課長
荒井自然保護対策課長、水沼環境保全課長、大津資源循環課長
中村産業廃棄物対策課長、岩田環境施設課長
中野新戸塚環境センター建設室長、沼口収集業務課長
梨子木戸塚環境センター所長、岩下リサイクルプラザ所長
塚平鳩ヶ谷衛生センター所長、環境施設課金子課長補佐
資源循環課板橋課長補佐、金森主査、野島主査、仲田主任
小林主任、神子主事
※長澤氏、齋藤氏、佐土井氏（(株)地域計画建築研究所）
- 4 傍聴者 0 人 傍聴申込受付期間：令和 7 年 7 月 1 7 日（木）から
令和 7 年 7 月 2 3 日（水）まで 定員 2 人
- 5 議 題（1）令和 6 年度ごみ処理実績について
（2）川口市一般廃棄物処理基本計画等の改定について
（3）川口市廃棄物の減量及び適正な処理に関する条例の一部改正について
（4）その他

6 議 事 録

川口市廃棄物対策審議会委員委嘱式
1 開 会
2 委嘱書交付
3 市長挨拶

4 委員自己紹介	
5 会長・副会長の互選	
事務局から、資料に基づき説明。	
会長選任	稲川和成委員が選出される。
副会長選任	河井一広委員が選出される。
6 会長・副会長のあいさつ	
会長挨拶	
7 諮 問	
8 職 員 紹 介	
9 閉 会	
令和7年度第1回川口市廃棄物対策審議会	
1 開 会	
議事録確認者選任 小林愛未委員が指名される。	
議題（1）令和6年度ごみ処理実績について	
事務局から、資料に基づき説明。	
委員	資料7ページの最終処分の際の資源化物について、焼却残渣物はセメント資源や路盤材資源としてリサイクルしているが、飛灰（ばいじん）で間違いないか。
事務局	戸塚環境センターから発生する主灰（焼却灰）をセメント化・路盤材として再資源化しているものと、朝日環境センターから発生する飛灰を熔融資源化し、民間で再資源化しているものも含まれている。そのため、主灰と飛灰の合計である。
委員	熔融スラグは含まれていないということで間違いないか。
事務局	間違いない。焼却残渣物に熔融スラグは含まれていない。
委員	焼却残渣物が近年増加している。飛灰はリサイクルできないものもあるのか。

事務局	再資源化の飛灰と主灰は、事前協議を取りかわす受け入れ先の自治体との最大量を搬出している。その他については、県外の最終処分場にて処分している。
委員	今後も焼却残渣物は増加するのか。
事務局	現在の資源化量が最大値であるが、今後はさらに再資源化可能であれば増加することも検討していきたい。
委員	市民運動として、生ごみを堆肥化し肥料とする「ダンボールコンポスト」の周知を行っている。生ごみの減量化や資源物の適正な分別を行うことによって、資料 6 ページのリサイクル率が向上するのではないか。
事務局	現状、生ごみは水分が多く含まれ重量が大きいことを踏まえ、「生ごみのひとしぼり運動」を推進している。今後も引き続き、ダンボールコンポストや資源物の分別等についても、PRESS 5 3 0 および LINE にて周知・啓発をしていく。
委員	資料 5 ページの表 4 及び資料 6 ページの表 5 において、焼却処理量が減少しているが、焼却残渣量が増加しているのはなぜか。また、表 5 下部記載の一般ごみの外部委託処理量は資料のどちらに記載があるのか。
事務局	令和 7 年 1 月に発災した朝日環境センター火災に伴い、令和 7 年 1 月から 3 月にかけて、熔融スラグ化していた主灰を民間の最終処分場へ搬出したことにより、焼却残渣量が増加している。また、一般ごみの外部委託処理量は、資料 5 ページ表 2 の排出量に含まれている。
委員	熔融スラグはセメント資材等に使用されるものであっているか。
事務局	高温化および急冷却の処理を行ったものを破碎し細かい粒子として、売却している。売却先では通常の砂と混合し、路盤材として使用している。
委員	熔融スラグは重金属が含まれ、酸性雨等で溶け出ると聞いたが、危険性はないのか。
事務局	ごみを焼却する過程で重金属は生じるが、年に数回検査を実施し、安全を確保したうえで売却している。
議題（２）川口市一般廃棄物処理基本計画等の改定について	
事務局から、資料に基づき説明。	

委員	資料 1 2 ページの 3 において、最終処分量が中間目標値を達成できない原因は施設の経年劣化であるとの記載があるが、施設を新設しないと達成できないということか。
事務局	溶融スラグ化する施設は、既に燃えた灰を再度焼く工程により負荷が大きく、ごみを通るダクトの硬化等により老朽化が進行しやすい。朝日環境センターは施設稼働から 2 3 年経過し、主灰のスラグ化よりごみの焼却を優先しているため、最終目標値の達成は困難であると考えられるため、民間への資源化委託も検討していく。
委員	第 8 次川口市一般廃棄物処理基本計画等策定の際には、資源化委託等も含めていく方針なのか。
事務局	今後、検討していく。
委員	毎週水曜日に収集しているプラスチック製容器包装は、売却後の事業者ではどのように利用しているのか。
事務局	プラスチック製容器包装については、日本容器包装リサイクル協会と再商品化委託をしている。
事務局	売却先では、プラスチック製パレット等へ再商品化されている。
委員	小学生が朝日環境センターや戸塚環境センターへ見学をすることで、今後適正な分別が可能になるため、子どもたちへの環境教育も目指していきたい。
事務局	市内の小学校 4 年生には、小学生用学習資料を毎年度配布しており、また、指導課ではオンラインにて施設見学等も実施している。
委員	以前は小学校 3 年生が施設への見学を実施していたが、学校毎の事情により、現在は少数の学校のみとなっている。見学に来る小学生は、具体的にどのように分別する必要があるのか分からないと発言することが多く、今後の子どもへの環境教育は必要であると考え。
委員	ある町会では、各世帯や転入してきた住民へごみの分別方法を講義していたため、町会と連携して適正排出を推進することはできないか。
事務局	各町会・自治会にて選出いただき、市より委嘱しているクリーン推進員が、ごみの分別や排出方法等、環境美化活動を行っていただいている。
議長	全市一斉合同町会長会議およびクリーン推進員研修会等にて、実際に町会・自治会で実施している分別やごみ集積所のあり方について、周知に努めてほしい。

委員	家庭ごみに関する市民アンケート結果（速報）の 6 ページにおいて、生ごみの堆肥化をすでに実践しているのは 4. 4 % となっている。市内外の幼稚園では給食の残飯等でダンボールコンポストを実施している。実際に行うことが難しいのは、承知しているが、無理のない範囲で実践してほしいと考える。
議長	無理のない範囲で学校等関連機関との連携に努めてほしい。
議題（３）川口市廃棄物の減量及び適正な処理に関する条例の一部改正について	
事務局から、資料に基づき説明。	
質疑なし。	
議題（４）その他	
事務局より、公民館におけるフードドライブについて説明。 次回以降の廃棄物対策審議会の日程を伝達。	
質疑なし。	
議長	最後に委員のみなさんから何かあるか。
委員一同	意見なし。
議長	みなさまから貴重な意見を賜りましてありがとうございました。それでは、以上で本日の議事は全て終了いたしました。円滑な議事進行にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。
事務局	ありがとうございました。以上をもちまして令和 7 年度第 1 回川口市廃棄物対策審議会を閉会いたします。本日は誠にありがとうございました。
閉会 (1 6 : 1 0)	
会議の内容については、以上のとおりです。 令和 7 年 8 月 5 日 川口市廃棄物対策審議会議長 稲川 和成 川口市廃棄物対策審議会委員 小林 愛未	